

平成 28 年度（第 60 回）
岩手県教育研究発表会資料

外国語活動 / 外国語分科会

教師の説明最小限、生徒の活動最大限の授業への挑戦
～生徒主体の授業を目指して～

平成 29 年 2 月 10 日
岩手県立山田高等学校
教諭 木村優美

平成28年度岩手県教育研究発表会

「教師の説明最小限、生徒の活動最大限の授業への挑戦」
～生徒主体の授業を目指して～

岩手県立山田高等学校
教諭 木村優美



生徒について

<入学時>

- ・中学校の既習内容 →未定着
- ・bとdを混同
- ・英語を読めない
- ・英語嫌い44名/49名中
- ・5月基礎力診断テスト(Benesse)の結果
→「このままでは就職・進学共に**進路達成**
できない可能性あり」 →17名/49名中

研究目的

基礎・基本を身に付けるには？

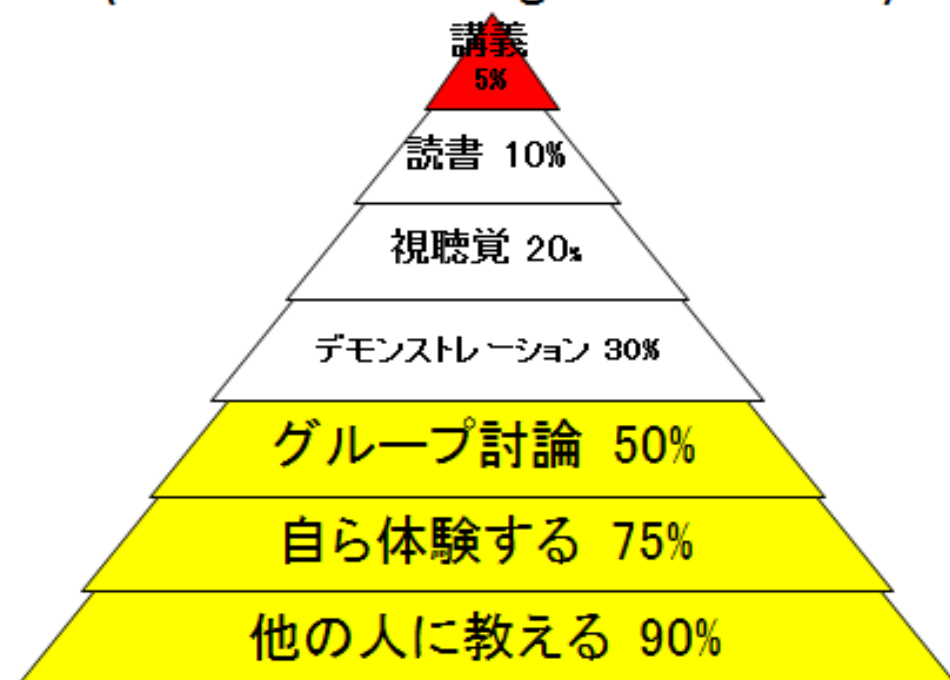


時間がかかる...



活動時間を増加してみては？

Learning Pyramid (National Training Laboratories)



研究内容

～山田高校Can Do Listをもとに～

- 1年次→①興味・関心
②英語で授業
③中学校の復習
④プレゼンテーション
- 2年次→①グループ活動
②プレゼンテーション
③ディスカッション
- 3年次→①生徒の活動中心
②プレゼンテーション
③ミニディベート
④掲示板でのアメリカの高校生との交流

1年次の取り組み例

①アンケート

英語が苦手 →約9割

英語ができるようになりたい →約9割

②Warming Up →英語の歌(興味・関心)

③中学の復習 →できたらほめる！

④プレゼンテーション活動

ワードマップで説明

体験を発表する

(週末、長期休暇、行事などについて)

⑤Writing(60語以上)

プレゼン内容を書く

1年次の取り組み成果

①モチベーションの向上

②音読できるようになった

③Writingの力がついた

60語以上

2年次の取り組み例

① Warming Up → チーム対抗戦の Writing

前回学んだ英語を使って英作文
考える(1分) → 黒板に書く(3分)

② プレゼンテーション活動

本文の内容をワードマップで説明
賛成・反対と理由を述べる

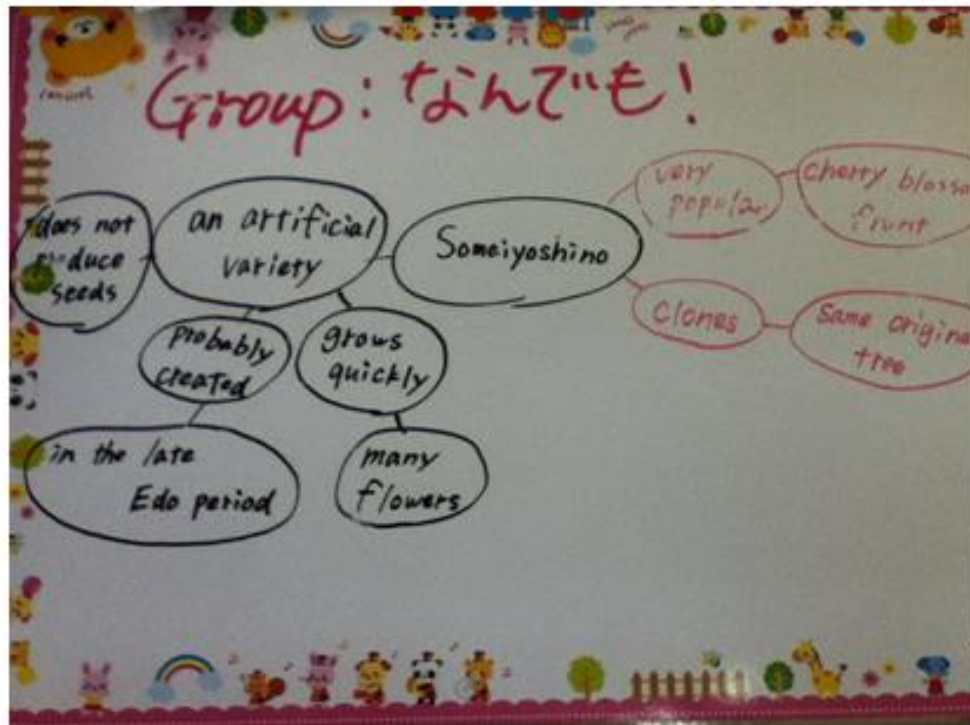
③ Writing(80語以上)

プレゼン内容を書く

① Warming Up : 現在完了形の練習



②プレゼンテーション:ワードマップ



②プレゼンテーション: retelling



プレゼン動画①

もし、岩手県の親善大使だったら・・・

2年次の取り組みの成果

- ①モチベーションの向上
- ②特にSpeaking, Listening力の向上
- ③Writing → 80語以上

3年次の取り組み

3年次の取り組み例

Warming Up 【Greeting】

ポイント:

生徒同士であいさつをすること
理由なども英語で尋ねること

3年次の取り組み例

Warming Up 【Describing pictures】

ペアワーク

生徒A: 写真を英語で説明
(ジェスチャー不可)

生徒B: 当てる

ポイント:

身近な写真を使用すること

3年次の取り組み例

プレゼンテーション活動【表現Ⅱ】 1時間目

- ①教師の説明(約10分)
- ②教科書の設問の答え合わせ(グループ)
- ③説明する問題決め
- ④プレゼンテーション準備

ポイント: 生徒の質問に答えながら、
生徒の説明を確認する(教師)

→次の時間へ続く

グループワーク



3年次の取り組み例

プレゼンテーション活動【英表Ⅱ】 2時間目

生徒による問題の説明

①発表者→先生役

②発表者1名

③発表者から質問

ポイント:問題に関連する質問をする

良い質問→ポイントを与える

手を挙げた生徒→ポイントを与える

④質疑応答

⑤教師→評価(A・B・C)

プレゼン動画② 【英表Ⅱ】

教科書の設問を説明する

3年次の取り組み例

プレゼンテーション活動【英表Ⅱ】 3時間目

①キーフレーズの復習(10分)

②シチュエーションの提示

③会話を作る(ペア)

ポイント:キーフレーズを必ず使う

できれば面白い内容に!楽しんで!

④プレゼンテーション

演じる(ペア)

⑤ベストパフォーマーの投票

ポイント:ペア賞と個人賞

ポイントを与える

プレゼン動画③ 【英表Ⅱ】

学んだ英語を使って演じる

3年次の取り組み(例)

プレゼンテーション活動【コミュⅢ】 1時間目

①初見の長文読解(個人)

ポイント: 質問内容を考える

②段落ごとにグループ分け

③各グループで説明

ポイント: 問題に関連する質問をする

良い質問には、ポイントを与える

手を挙げた生徒にもポイントを与える

→次の時間へ続く

3年次の取り組み例

プレゼンテーション活動【コミュⅢ】 2時間目

④プレゼンテーション

- ・発表者→先生役
- ・発表者1名
- ・発表者から質問

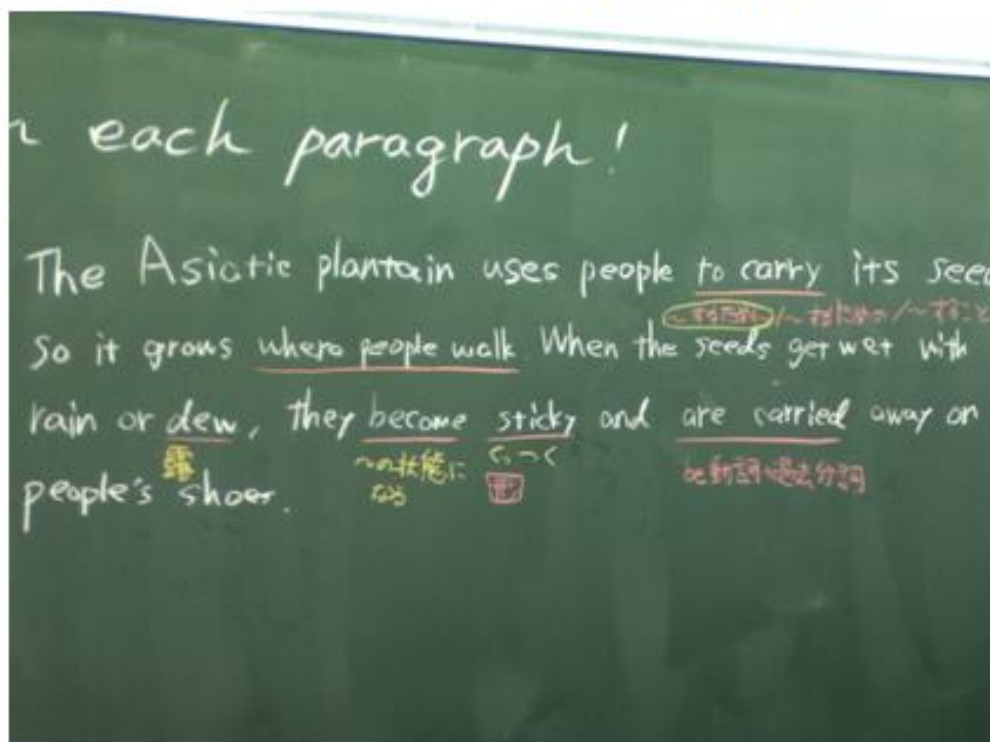
ポイント:問題に関連する質問をする

良い質問には、ポイントを与える

手を挙げた生徒にもポイントを与える

- ・質疑応答
- ・教師→評価(A・B・C)

生徒のプレゼン後の黒板



3年次の取り組み例

ミニディベート【英表Ⅱ】～英語で発信する～

これまでのトピック例

- Doraemon shouldn't help Nobita blindly.
- Giving chocolates on Valentine's Day should be banned.
- Living in Tokyo is better than living in Iwate.

など

3年次の取り組み例

ミニディベート【英表Ⅱ】～英語で発信する～

- ①トピックの提示
- ②グループになる(3～4名)
ポイント:核になる生徒が1名入るようにする
- ③くじでAffirmative / Negativeを決める
- ④立論を考える
- ⑤相手の反論を想定する
- ⑥ディベート

3年次の取り組み例

ミニディベートのポイント(山高version)

- ① ゆっくり、はっきり、大きな声
- ② 簡単な単語
- ③ 英語の発音
- ④ 視線はジャッジへ
- ⑤ 具体例を挙げる
- ⑥ チームで協力する

ミニディベートの様子①



ミニディベートの様子②



3年次の取り組み例

Writing(100語以上)

①プレゼン内容

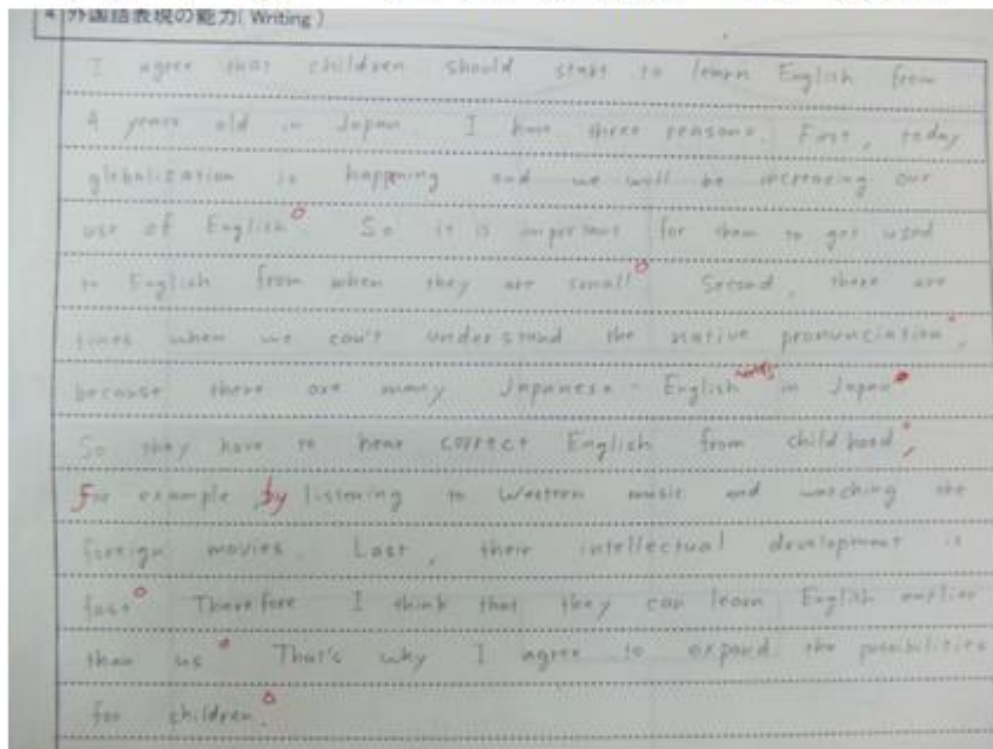
②ディベート後に自分の意見など

ポイント:Speaking → Writing

プレゼン動画④

9歳からの英語教育についての意見

コミュニケーション英語Ⅲの考査



3年次の取り組み例

アメリカの高校生との交流

バージニア州の高校生とSNSで交流

- ①トピック決定
- ②写真や考えを投稿
英語と日本語がルール！
- ③返信、コメントを投稿
- ④お土産交換
- ⑤新しいトピック→つづく・・・

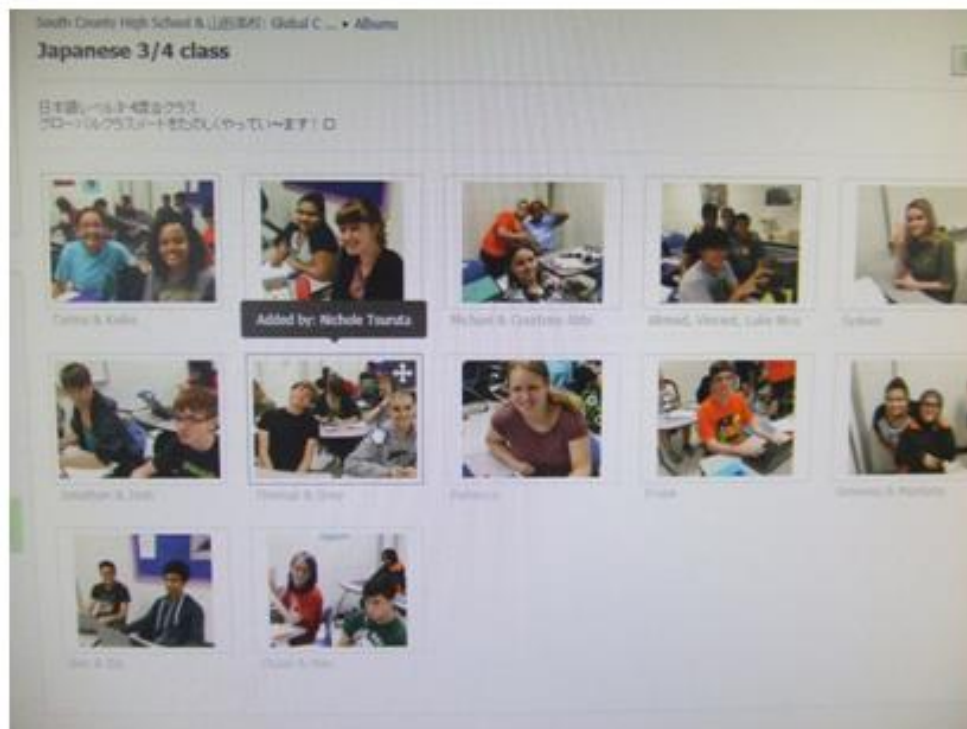
インターネットを使った授業の様子



実際のweb掲示板



アメリカの高校生



プレゼン動画⑤

アメリカの高校生に自己紹介

英語表現Ⅱの考査

⑤
I want to go to Korea, too. ○

4
Hello. My name is Awi. My birthday is February 2nd. I'm 17 years old.
Today, I will talk about my favorite things. I like listening to music.
Especially, I like NEWS. It is a Japanese idol group. They ~~are~~ sing
and dance very well. Their songs are very good. I like Shigeaki Kato.
He writes novels ~~and~~. He is very cool. His voice is very nice.
And I like talking with my friends. I like my club members very much.
I belong to the rowing club. They work very hard. I want to
a lot of places to support their boat races. For example, Hyogo
prefecture, Shizuoka prefecture, Shimane prefecture, and so on.
Hyogo prefecture and Shimane prefecture are hotter than Iwate
prefecture. But I could have a lot of very good experiences.

100 words

生徒の変化について

<3年次現在>

- ・100語以上話す、書く
- ・英語が好きになった、嫌いじゃない
- ・8月基礎力診断テスト(Benesse)英語の結果
→「このままでは就職・進学共に進路達成
できない可能性あり」

17名 → 9名

「4年制大学、筆記試験で就職を目指せる」

4名 → 18名

3年間の成果

- ①基礎・基本の活用時間が増えた
→ 実際に使うことで、基礎・基本が身についた
- ②生徒同士で褒め合う(先生役が褒める)
→ 互いに認め合う機会が増えた
- ④生徒主体
→ 意欲的に取り組むようになった
- ⑤ペアワーク、グループワーク
→ コミュニケーション能力が向上した

伝えたいこと

- ①生徒の活動時間を十分に
- ②実際に使う機会を増やす
- ③生徒をほめて、
生徒の意見に 耳を傾ける

ご清聴ありがとうございました

